

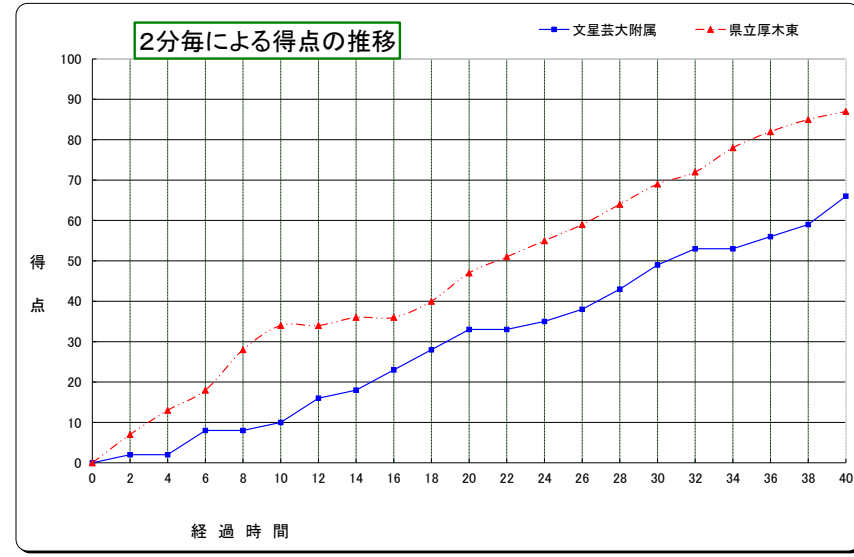
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
春日部ウイングハット
1回戦

チームA			チームB
文星芸大附属 (栃木)	66	{ 10 1st 34 23 2nd 13 16 3rd 22 17 4th 18 }	87
		}	県立厚木東 (神奈川)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	菅沼 明志	5	0	0	2	10	1	2	1	0	5	0	2	0	2
5	小倉 峻平	34	8	22	4	14	2	2	3	0	4	2	3	0	3
0	飯島 永遠	12	0	5	5	12	2	3	4	2	3	1	0	0	2
7	栗島 夢人	0	0	5	0	8	0	0	4	1	2	2	1	0	1
8	池田 和樹	5	0	0	2	2	1	2	5	8	7	0	0	0	3
9	川上 達也	3	0	0	1	2	1	2	2	1	1	0	1	0	1
10	永井瑞珠起	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
11	畑中龍之介	0													
12	渡邊 駿	2	0	2	1	2	0	0	1	1	1	0	1	0	1
13	菅俣 叶	0													
14	上岡 奏人	3	0	1	1	5	1	2	0	0	0	2	1	0	0
15	疋田 翔琉	2	0	0	1	3	0	0	1	2	5	1	0	0	0
16	橋本 颯人	0													
17	山本 泰平	0													
18	松本 啓汰	0													
コーチ	伊 藤 均		0	0	0	0	0	0	0	3	4	2	0	0	0
		66	8	35	17	58	8	13	22	18	32	10	9	0	13
		確率	22.9%		29.3%		61.5%			計 50					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	佐野龍之介	20	1	3	5	10	7	9	3	0	7	2	3	0	3
5	佐藤 光	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
6	望月 健太	2	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	0	0	1
7	東野 恒紀	14	1	8	5	9	1	5	1	0	4	1	4	0	2
8	菊池 允	14	0	1	7	11	0	2	2	7	5	2	0	1	2
9	加藤 樹	12	0	0	6	11	0	0	5	3	9	0	0	0	1
10	矢川 拳梧	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
11	五十嵐 豪	0	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	0	0	1
12	吉田 謙信	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
13	中島 峻	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
14	吉田 烈	11	2	2	2	3	1	2	0	4	1	1	2	1	1
15	小宮 優大	12	2	9	3	6	0	2	0	5	11	1	5	4	1
16	高橋 浪磨	2	0	0	1	3	0	0	0	2	2	0	0	0	2
17	大野 航	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
18	吉田 楓	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
コーチ	永田 雅嗣 郎		0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1
		87	6	25	30	59	9	26	14	24	47	9	15	6	18
		確率	24.0%		50.8%		34.6%			計 71					



戦評

第1P、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤から厚木東はアウトサイドからのドライブでチャンスを作り得点を重ねた。一方文星もビックからオフェンスのチャンスを作ろうとするが、ファウルを重ね、厚木東のディフェンスを崩せない状況が続いた。厚木東#15の3Pが立て続けに決まり、#8の3Pも決まったところで文星がタイムアウト。タイムアウトが功を奏し、文星#5が3P、2Pを立て続けに決め、文星のオフェンスが変わり始めたが、厚木東の勢いは止まらなかった。

第2P、文星#4のディフェンスで厚木東にミスが連続する。そこから得点のチャンスをつかみ、第1Pで決まらなかったドライブも決まり始めた。一方厚木東は、思うように得点を伸ばせず、ミスからの速攻で文星に得点を決められてしまう場面が多く見られるようになり、11点差まで追いつかれた。残り2分で文星もメンバーをスタートに戻し、文星#5の3P、厚木東のパスミスから文星#4のシュートと気持ちよくつながった。しかし、その後のオフェンスは文星が攻めきることができず、ターンオーバーで着実に厚木東が得点を重ね、14点差で折り返すこととなった。

第3P、後半の出だし、バックコートからのタイトなマンツーマンディフェンスにより、厚木東#4、#15が得点を決め、文星がディフェンスにはまるかと思われたが、その後約2分間両チームとも攻めるが得点にならない状況が続いた。しかし、その均衡状態を破った厚木東が3本連続でシュートを決めた。文星もスタックからオフェンスのチャンスを作るがシュートまでいけない。お互いに得点を決めあうシーンが続いた。残り3分のところで厚木東#9が4ファウル、その後すぐに文星#8も4ファウルでそれぞれ交代した。ここから文星の高い位置からのマンツーマンディフェンスが効き始め、ハーフコートからのダブルチームも決まり、流れが文星側に変わり始めたが、結局は20点差に開いてしまった。

第4P、開始すぐに文星#5がシュートを決めるが、厚木東の速攻を止めることができず、残り6分で文星がタイムアウト。その後、文星#8、厚木東#9が5ファウルで退場。厚木東が#7、#8の力強いドライブで得点を重ねるも、文星は#5の3Pで応戦。文星のハーフコートからのダブルチームで厚木東のミスを誘ったが、厚木東の勢いはそのまま弱ることはなく、厚木東が2回戦進出を決めた。

記入者: 前田雄太

Ref	菊池真吾	1st U	箱石拓也	2nd U	
-----	------	-------	------	-------	--